



ふじさんネットワーク

FUJISAN
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.31



三保海岸より

富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

目次 Contents

1. 自然観察会
2. 富士山みがきあげ作戦
3. 寄付金の贈呈
4. 富士山の世界文化遺産登録に向けて
5. 富士山エコレンジャー活動

1 自然観察会

さわやかな秋空のもと、3コースの自然観察会を実施しました。
その様子をご紹介します。

柿田川の湧水を巡る自然観察会

日時：平成21年10月4日(日)午前9時30分から正午まで
場所：柿田川公園周辺(駿東郡清水町) 参加者：26名
案内：(財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

「柿田川公園」内の遊歩道を歩きながら、柿田川の清流や貴重な動植物を間近で見学しました。

また、県企業局東部事務所柿田川支所管内にある取水施設「八幡取水場」も訪れ、場内の見学をしました。



柿田川に生息する絶滅危惧植物の解説
(漆畑会長：写真中央)



川の水がきれいだな～



公園内の鳥やトンボも観察しました。



柿田川の湧水を水源とした水道事業の説明
(堀井 柿田川支所長：写真中央)

朝霧ふれあいの森を巡る自然観察会

日時：平成21年10月10日(土)午前10時から午後2時まで
 場所：朝霧ふれあいの森(富士宮市) 参加者：25名
 案内：富士宮自然観察の会

「朝霧ふれあいの森」を散策しながら、人工林から自然林への移り変わりの様子や、どんな樹木や野草が生育しているのか観察しました。

昼食後には「森のセミナー」が行われ、富士山の自然に関する興味深いお話を聞きました。



足元に生えている野草の解説



参加してくれた中学生が、
看板の説明をみんなに聞こえるように、
大きな声で読んでくれました。



「森のセミナー」では、富士山の水、
紅葉のシステム、外来種等について説明があり、
参加者の皆さんも熱心に耳を傾けていました。



放置林と育成林の違いの解説
 (仁藤会長：写真左端)

富士山の動植物に触れる自然観察会

日時：平成21年10月12日(月・祝)午前9時から午後4時まで

場所：富士山麓山の村(富士宮市) 参加者：31名

案内：富士常葉大学

富士常葉大学が事前に設置した「ヒメボタル」の幼虫捕獲用トラップと森林土壌を採集し、その中から「ヒメボタル」や土壌生物を探す作業をしました。

その後、探し出した土壌生物の名前を模造紙に書き出し、各班ごとに発表しました。

最後に、富士山の自然や土壌生物についての講話がありました。



捕獲用トラップと森林土壌を採集



ヒメボタルいるかな～



班ごとに探し出した土壌生物を発表。
各班とも15種類前後の土壌生物を見つけました。
ちなみにヒメボタルは全体で3個体
見つけることができました。



富士山の自然や動植物についての講話
(山田教授：写真中央)

参加者の皆様からアンケートをとったところ、3コースともほとんどの方が「大変よかった」という意見を寄せてくれました。富士山の自然に直に触れたことで、富士山への環境保全意識を高めていただけたのではないかと感じております。

関係者の皆様には、3コースとも無事開催できたことを心よりお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

(11月14日(土)開催予定でした「富士山ふれあいの森を巡る自然観察会」は、荒天のため、中止になりました)

2 富士山みがきあげ作戦

「富士山みがきあげ作戦」とは、地元の企業、団体等様々な人々の参画を得ながら、富士山すそ野の4市1町（富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町）内の五合目以下の道路や公園等のごみの実態を調べ、どうすればごみをなくせるか考えることにより、富士山をすそ野からみがきあげ、日本一きれいな山を目指す活動です。

平成21年度活動例

①株式会社虎屋 御殿場工場

- 活動日時 平成21年8月28日(金)午後4時から6時30分まで
- 参加人数 40名
- 活動地域 御殿場市印野付近
- 実態調査（ごみの量）
約40kg
- ごみが多くみられた場所
 - ・道路脇の草むら
 - ・歩道、車道脇
 - ・開放状態の道路脇側溝
- 活動中気がついた点
 - ・タバコの吸殻が多く見られた



②マックスバリュ東海株式会社

- 活動日時 平成21年11月21日(土)午前10時から11時まで
- 参加人数 30名
- 活動地域 裾野市下和田付近
- 実態調査（ごみの量）
約45kg
- ごみが多くみられた場所
 - ・駐車場や車が止められる場所
 - ・草の中
 - ・1本奥に入った農道
- 活動中気がついた点
 - ・歩道が整備された場所でごみの減少が見られた
 - ・草刈が定期的実施されることにより、ごみの減少が見られた



ごみをなくす方法としては、道路周辺のコマメな草刈、側溝に蓋をつける、ポイ捨て禁止の啓発看板の設置等の意見が寄せられました。

皆さんも一緒に、富士山をすそ野からみがきあげ、富士山のごみについて考えてみませんか？

ふじさんネットワークでは、参加申込書の受付後、傷害保険の加入（掛金はふじさんネットワーク負担）、腕章及び幟旗の貸出をいたします。

活動に興味のある方は、ぜひ、事務局までご連絡ください。

3 寄付金の贈呈

平成21年10月5日、静岡県庁内におきまして、沼津信用金庫 諏訪部恭一理事長様より、寄付金(100万円)の目録が贈呈されました。

この寄付金は、沼津信用金庫様が地域貢献活動の一環として、6月から9月にかけて販売した「富士山・柿田川環境応援定期預金」の定期預金残高0.02%相当額です。

ふじさんネットワークからは、土会長が、御厚意に対する感謝状を授与しました。

また、静岡県から、沼津信用金庫様に対して、知事感謝状も授与されました。



(左より)
石野静岡県環境局長、土会長、
諏訪部沼津信用金庫理事長、神谷沼津信用金庫理事

4 富士山の世界文化遺産登録に向けて

静岡県からのお知らせ

富士山世界文化遺産国際専門家会議・国際フォーラムを開催(9月5日・6日)

富士山の世界文化遺産登録実現のためには、国内だけでなく、海外も含めた多くの専門家の支持が得られるよう、理解を得ることが不可欠です。そのため平成20年に引き続き、国際専門家会議・国際フォーラムを開催しました。



《海外専門家による現地視察の様子》
(写真は柿田川)

海外からはイコモス(※)文化的景観委員会委員長のモニカ・ルエンゴ氏をはじめ5氏を招へいしました。国際専門家会議では世界文化遺産登録を目指す『富士山』に貴重な意見や提言が寄せられました。また、国際フォーラムには約400名の聴衆が参加し、基調講演やパネルディスカッションを通じて海外の世界文化遺産の事例や保存管理の方策について理解を深めました。

なお、これに先立ち静岡・山梨両県の構成資産候補(静岡県側:柿田川、大鹿窪遺跡、三保松原、富士山本宮浅間大社、白糸ノ滝)の現地視察を実施しました。

※国際記念物遺跡会議。各国から推薦された物件の調査を専門的な見地から行う。

『富士山』への意見・提言

顕著な普遍的価値

- ・富士山の「類まれな自然美」が、「信仰の対象」「文化創造の源泉」のベースとなっており、これを基に富士山の顕著な普遍的価値を証明することが重要である。

評価基準の適用

- ・評価基準（vii）の文化遺産への適用は可能であり、評価基準（iii、vi）に追加することで、富士山は重要な先例になり得る。

完全性・真実性

- ・散在する構成資産は、文化的景観としての面的かつ一体的なものとして範囲を設定し、価値証明を行う必要がある。

構成資産

- ・構成資産は、評価基準に合致した価値の証明が明確であるものに限るべきである。

演習場

- ・富士山の景観を保全するためには、演習場は緩衝地帯とすべきであり、演習場の景観を守るための新たな法規制等は必要ない。



《白熱した議論が展開された国際専門家会議》
（写真は山梨県「ホテルマウント富士」）



《約400人の参加者を集めた国際フォーラム》
（写真は山梨県「勝山ふれあいセンター」）

- （参考：評価基準）（iii）現存するか消滅しているかにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在（少なくとも希有な存在）である。
- （vi）顕著な普遍的価値を有する出来事（行事）、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある。
- （vii）最上級の自然現象、又は、類いまれな自然美・美的価値を有する地域を包含する。

5 富士山エコレンジャー活動

(1) 講習会開催中!

平成21年度の講習会が9月から始まりました。講座のみの受講者も含め10名の方が参加しています。



ザックを使用した救助法の実践。活動中は、実際に負傷者の救助に携わることもあります。



「富士山の植生と植物」、
「富士山の気象」について学びました。

(2)登山者からの手紙を紹介します

今年も多く登山者が訪れた富士山。標高3,776mは日本一ながら、登山初心者が多いのも特徴です。慣れない登山に怪我をしたり、高山病に苦しんだりする方も少なくありません。登山中困っている方々に手を差し伸べるのも、富士山エコレンジャーの役割の1つです。

富士山エコレンジャーと出会った登山者の親子から、事務局宛に手紙が届きましたので紹介します。

◎お父様からの手紙



(前略)

八月十二、十三日の日程で富士山に登山しました。

ハオの長女と二人で須走口から登り、御殿場口から下山しました。下山の際、親子共々高山病になり、頭痛で動けない状況でした。その時、富士山エコレンジャーの腕章を付けられた2名の方々に助けをいただき、御殿場の五合目駐車場まで付き添っていただきました。

初めての富士登山と高山病で非常に心細くなっていた時にとっても親切にしてください、大変感謝します。

長女も、二度と来たくないと言っていたのが、大砂走りの下り方やフジアザミ等の植物の話、富士山の話教えて頂き、また行きたいと言う様になりました。

(後略)

◎お子さんからの手紙

おじちゃんへ

この前富士山で、いろいろとありがとうございました。私が心に一番のこつたのは、すな走りで、びゅんびゅんと走ったことです。もう一つは、おじさんと写真をとったことです。私が一番つらかった事は、お父さんより先に行ったことです(※)。でも、おじさんといろいろとしゃべっていると、わくわくしてとっても楽しかったです。すな走りの走り方のこつを教えてもらってよかったな〜と今も思っています。またこんど、富士山であつた時いろいろなことを教えてください。

この前はどうもありがとうございました。

(※) お子さんの高山病が少し良くなり、お父さんより先にエコレンジャーの方と下山したため。



富士山エコレンジャーはこのように、登山中困っている方に声をかけるのは当然ですが、ほかにも来訪者に対してマナー啓発や自然解説等の情報提供などを行っています。

富士山エコレンジャー活動に興味をお持ちになりましたら、遠慮なく、ふじさんネットワーク事務局までお問い合わせください。連絡、お待ちしております。



2009年12月 vol.31

編集・発行／**ふじさんネットワーク事務局**

静岡県環境局自然保護室内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 電話054-221-2963 ファックス054-221-3278

E-mail 3776fujii@pref.shizuoka.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 土隆一
(静岡大学名誉教授)
- 会員数 416団体・個人
(H21.11.30現在)